

平成22年9月2日(木)

## 夏の学校林活動（標茶町立中茶安別小中学校）

9月2日(木)、標茶町立中茶安別小中学校で夏の学校林活動が行われ、学年ごとに分かれて森林教室を行いました。中茶安別小中学校では学校林を「るんるんフォレスト」と名付け、全校児童・生徒で春、夏、秋の学校林活動に取り組んでいます。

今回の活動では、森林管理署の森林官も講師として参加し、3班に分かれて行いました。小学校低学年(1～2年生)は、学校林にある樹木の葉9種類をカラーコピーし、同じ形の葉を探しながら樹木の名前や特徴を学習しました。小学校高学年(3～6年生)は、樹木の葉を採取し、葉を紙の下に置き、鉛筆で葉の形をこすり出し、樹木の名前や特徴を学習しました。中学生(全学年)は、これまで学習した数学を利用して、木の高さを知る目測の方法や、平板に虫ピンを立てて2本の木の間の距離を測る簡易な測量に挑戦しました。

体験学習の最後には班ごとの活動発表がありました。小学校低学年の班の発表では「写真のコクワの葉っぱを探して見つけられた。実を食べたらスッパかった。」などと発表があり、楽しい夏のるんるんフォレスト活動を終了しました。

(自然再生指導官 朝倉)



小学校低学年：写真と同じ葉っぱを見つけよう



小学校中～高学年：木肌のこすり出し



小学校中～高学年：樹木の葉の採取



中学生：木の高さを目測で測る